

衆議院内閣委員会厚生労働委員会連合審査会ニュース

平成 26. 4. 3 第 186 回国会第 1 号

4 月 3 日（木）、第 1 回の連合審査会が開かれました。

1 健康・医療戦略推進法案（内閣提出第 21 号）

独立行政法人日本医療研究開発機構法案（内閣提出第 22 号）

- ・田村厚生労働大臣、菅内閣官房長官、加藤内閣官房副長官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。（参考人）独立行政法人理化学研究所理事長 野 依 良 治君

（質疑者及び主な質疑内容）

近 藤 洋 介君（民主）

- ・ノバルティスファーマ株式会社の薬事法違反事件について、厚生労働省では今後どのように対応していくつもりなのか、また、本事件が発生した理由をどのように考えているのか、田村厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・日本学会議提言「我が国の研究者主導臨床試験に係る問題点と今後の対応策」（平成 26 年 3 月 27 日）について、この提言内容は独立行政法人日本医療研究開発機構法案の枠内で実現可能ではないか、政府の見解を伺いたい。
- ・臨床研究中核病院及びいわゆる国立高度専門医療センター（ナショナルセンター）において臨床研究を推進するための体制整備が必要と考えるが、菅国務大臣の所見を伺いたい。

杉 田 水 脈君（維新）

- ・各省庁に分かれている医療分野の研究開発に係る予算を独立行政法人日本医療研究開発機構（以下「機構」という。）に集約することについて、その具体的なメリットについて、政府の所見を伺いたい。
- ・機構におけるレベルの高い人材について、その基準や具体的な確保の方法について、政府の所見を伺いたい。
- ・諸外国を見ると研究開発機関は地方にある例が多いが、機構はどこに設立するのか、また、機構法案で東京都に限定しているのはなぜか、政府の見解を伺いたい。

清 水 鴻一郎君（維新）

- ・総合科学技術会議があるにもかかわらず健康・医療戦略推進本部を設置するのは、屋上屋を重ねることにならないか。両者の住み分けをどのように図るのか、政府の見解を伺いたい。
- ・プログラムディレクター（PD）の公平な選考や研究内容等の適正な評価を実現するために、どのような仕組みを

導入することを検討しているか、伺いたい。

- ・国立の研究機関をはじめとするいわゆるインハウス研究の役割、位置付け及び予算管理の在り方について、政府の見解を伺いたい。

長 妻 昭君（民主）

- ・独立行政法人日本医療研究開発機構での研究費の査定について、査定者の出身官庁等に有利な査定がされることのないように透明性を確保する必要があると考えるが、政府の考えを伺いたい。
- ・独立行政法人理化学研究所の特定国立研究開発法人への指定時期が 4 月中旬とされていることから、STAP 細胞の研究論文の疑義に関する最終報告の発表をそれに間に合わせたのではないかと指摘があるが、野依独立行政法人理化学研究所理事長の見解を伺いたい。
- ・研究不正が生ずる背景や、研究現場で感じている問題点について、野依同理事長の見解を伺いたい。

新 谷 正 義君（自民）

- ・米国 NIH で導入されているグラントという制度のように、我が国でも若手の優秀な研究者にチャンスを与え、育てていく配慮が必要と考えるが、研究費の配分を行うに当たっての今後の取組について、政府の見解を伺いたい。
- ・研究費の申請に対する機構の査定について、研究内容の革新性をどのように確保するのか、政府の見解を伺いたい。
- ・知的財産権戦略に関しても研究者を支援する必要があると考えるが、独立行政法人日本医療研究開発機構における支援の方針について、政府の見解を伺いたい。

奥水 恵一君（公明）

- ・日本製の医療品の国際市場におけるシェアを獲得するための取組や、今後の国際市場の開拓のための戦略について、政府の考えを伺いたい。
- ・国内で開発した製品は、国内でサプライチェーンを構築することが成長戦略として非常に重要であることから、生産拠点の海外流出を防ぎ、国内産業としての定着を目指す戦略が必要であると考えているが、政府の考えを伺いたい。
- ・難病の治療薬の開発は患者数が少ないために産業には結びつきにくいと思われるが、推進の必要性は高いと考える。その点について政府の見解を伺いたい。

中島 克仁君（みんな）

- ・健康・医療戦略推進本部に加えて、独立行政法人である日本医療研究開発機構を設立する必要性について、菅国務大臣の見解を伺いたい。
- ・医療分野の研究開発の司令塔機能の創設に関して、内閣が一元的に管理する仕組みを採用せず、なぜ独立行政法人である同機構の設立という方法を用いたのか。また、将来的に米国のNIHのような仕組みを採用するつもりなのかどうか、菅国務大臣に伺いたい。

井坂 信彦君（結い）

- ・健康・医療戦略推進本部と総合科学技術会議は上下関係にあるように感じるが、どのような関係にあるのか、菅国務大臣の見解を伺いたい。
- ・各府省等が予算要求を行う際、健康・医療戦略推進本部

と総合科学技術会議のいずれの方針に従って要求することになるのか。

- ・総合科学技術会議が、健康・医療戦略推進本部の役割を担うことによって不都合なことが生じるのか、菅国務大臣の見解を伺いたい。

高橋 千鶴子君（共産）

- ・両法案に基づく新たな医療分野の研究開発体制と米国のNIHとの実質的な違いについて菅国務大臣の見解を伺いたい。
- ・来年度以降の予算における、トップダウン型の研究開発予算と科学研究費補助金等のボトムアップ型の研究開発予算のバランスについて、政府の考えを伺いたい。
- ・両法案成立後、新しい医療分野の研究開発体制の下で成果が得られたとき、その成果は国民に還元されるべきであると考えているが、菅国務大臣の見解を伺いたい。

村上 史好君（生活）

- ・国民の「健康寿命」の延伸等を成長戦略の一環として位置付けることに違和感を覚えるが、健康・医療戦略推進法案の目的及び基本理念において、あえて健康長寿社会の実現を強調している理由は何か、菅国務大臣の見解を伺いたい。
- ・現在、内閣府の肥大化が問題視されており、安倍内閣においても多くの会議体等が設けられている。肥大化により機動性が失われてしまうので、機構の運営が軌道に乗った後は、厚生労働省に移管すべきと考えているが、菅国務大臣及び田村厚生労働大臣の見解を伺いたい。